



世界に希望を生み出そう

2023～24 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長:ゴードンR.マッキナリー (スコットランド)

鹿屋西ロータリークラブ週報
WEEKLY REPORT
NEWS
<http://www5.synapse.ne.jp/Kanoya24/>
ROTARY 第2061回



ユリ [純潔・無垢・威厳]

| | |
|---|---|
| <p><ガバナー公式訪問例会> R5. 9月11日(月) 12:30～ ホテルさつき苑 100%出席で池ノ上ガバナーをお迎えしましょう!!</p> | <p><地区大会> R5. 10月13日(金)～15(日) シーガイア(宮崎) 宮崎に全員集合!! 交流を深めましょう!!</p> |
|---|---|

2023年07月24日

◆ゲスト紹介

[鹿屋プロバスクラブより]

会長 藤崎幸男 様 幹事 碓山 巖 様
 会員 岩元 保 様 会員 永田良文 様



藤崎会長ご挨拶 (鹿屋プロバスクラブの皆様)

- [きもつき RC] 15日(火)お盆につき休会
22日⇒29日(火)へ変更 12:30～
公式訪問前クラブ協議会
- [志布志 RC] 1日(火)⇒7/30(日)へ変更
志布志市市民グラウンド 例会 8:30～
8日(火)第2週の為例会無し
15日(火)お盆休みにつき休会
22日(火)時間変更 12:30～大黒本店
29日(火)公式訪問前クラブ協議会 19時～
- [志布志みなと RC] 16日(水) 休会
23日(木)時間変更 19:30～大黒本店

◆会務報告

1. 地区社会奉仕委員会全体打合せ開催のご案内
(2023-24 年度ロータリー奉仕デー「海岸美化プロジェクト」について)
日時: 2023年8月21日(月)18:30～19:30
開催方法: ZOOM リモート会議
2. 普通寄付金申告用領収証発行受付開始のお知らせ (ロータリー米山記念奨学会)
3. RI 日本事務局財団室 NEWS 2023年8月号
4. 「公共イメージ向上のためのクラブセミナー」ご参加の御礼
5. かのや夏祭り総踊り駐車許可証送付について
6. 8月例会変更のお知らせ
[串良 RC] 14日(月)お盆につき休会
28日(月)公式訪問前クラブ協議会
18:30～セントロ大隅

会長の時間

会長 前田数郎さん

皆様お疲れさまです。
 まず初めに鹿屋中央高校野球部県大会準優勝おめでとうございます。後、一息で甲子園出場が決まるかと思いましたが、相手校の神村学園も中々の強豪チームでした。神村学園の甲子園でのご活躍をお祈りしています。
 さて、本年度も各種ロータリー事業が動き出しました。
 7月12日、遠矢副会長と梅北幹事にプロバスクラブ例会に参加して頂きました。有意義な意見交換が出来たとの事です。ありがとうございました。
 7月21日に韓国インターアクト交流会が都城で開催され当クラブから深水さんが中央高校インターアクトクラブメンバーと一緒に参加して頂きました。
 ありがとうございました。



| 次回プログラム | |
|----------|-------------|
| 8月07日(月) | |
| 卓話者: | ゲスト:尾形 栄 様 |
| 担当委員会: | 会報・雑誌委員会 |
| 3分間スピーチ: | — |
| 出席報告 | 会員数 (41)44名 |
| | 出席数 35名 |
| | 出席率 85.37% |

| メイクアップ情報 | | | |
|----------|--------|-----|--|
| 鹿屋 | 08月02日 | (水) | ホテルこばやし |
| かのや東 | 08月03日 | (木) | かのやグラウンドホテル |
| 串良 | 07月31日 | (月) | セントロ大隅 |
| 志布志 | 08月01日 | | ⇒7/30(日)7:00～志布志市市民グラウンド |
| きもつき | 08月03日 | (木) | 高山温泉ドーム |
| 南九州大崎 | 08月03日 | | 第1週:理事会(例会無) (木)セントロランド 第1週:理事会(例会無) |
| 志布志みなと | 08月02日 | (水) | 大黒本店 |

鹿屋西ロータリークラブ

会長: 前田 数郎
副会長: 遠矢 達一
幹事: 梅北 健一



例会日 月曜日 12:30～13:30
 例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212
 事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10
 ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959
 E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp

また、昨日 23 日は地区公共イメージ向上のためのクラブセミナーに四元さんが地区広報・公共イメージ部門副部門長及び鹿屋西クラブとして参加されました。ありがとうございました。

私は 7 月 18 日鹿屋市青少年育成市民会議に参加致しました。その中で気付いたのですが、皆さんは「鹿屋市市民憲章」成る物を知っていますか？

それは、「私たちは、鹿屋市民としての誇りと自覚を持ち、明るく住み良いまちづくりをめざして、この憲章を定めます。と有り。

1. 自然と資源を活かし、豊かな鹿屋市をつくりましょう。
 2. とともに学び、働き、日々の暮らしにいきがいをもてる生活をしましょう。
 3. きまりを守り、安心して暮らせる健康都市を築きましょう。
 4. 助け合い、支えあい、楽しく明るいまちづくりをしましょう。
 5. 環境を整え、未来にはばたく人材を育てましょう。
- と言う物でした。

こう言う市民憲章が有った事さえ知らなかったのですが、参加して勉強に成りました。この会議の中で、各地域の子供会が壊滅寸前との話で、子供会の存続が地域の連帯に大事だと言う事でしたが、核家族化、共稼ぎ世帯の増加、近隣家庭とのコミュニケーションの欠如等で中々、難しい問題との事でした。

そんな中で、とある高齢者の男性で自己主張の強い方が居て、大きい声で議題とは関係の無い主張を大きな声でされるなどをされ会場がシラーと成り驚きました。自分自身も人の話が聞けなく場の読めない老人に成らない様に気を付けなければと思いました。

さすがに当クラブにはその様な人は見かけませんが、皆さんも年を重ねる度に嫌われる老人に成らない様、かわいい好かれる老人に成る様に気を付けましょう。

同日は鹿屋ロータリークラブ例会に私、遠矢副会長、梅北幹事、山下さん 4 名でご挨拶にお伺いして来ました。

鹿屋ロータリークラブの皆様へ暖かい対応をして頂き、また鹿屋ロータリークラブ寺村会長より本年度は是非、3 クラブ合同例会を開催しようとのお話を頂きました。ついでにお時間を頂きケリーズバーベキュークラブのお誘いを行って来ました。

7 月 19 日は鹿屋警察署管内企業防衛連絡協議会に参加致しました。その中で鹿屋警察署 刑事官の「反社会的勢力の現状と対処要領について」のお話を聞く機会を頂きました。

現在、全国に約 8000 名の暴力団員が存在し鹿児島県にも約 170 名の暴力団員が存在するとの事です。

最近準暴力団(ハングレ)等も増化傾向に有るとの事でした。近隣でも大崎町の暴力団員宅から拳銃が摘発された事案が有ったとの事です。一つ間違えると大隅半島でも暴力団の抗争事件が何時起きてもおかしくない状況だと言う事でした。

それから、もし、皆さんに暴力団より不当要求が有った場合は

1. 暴力団を恐れない
2. 暴力団を利用しない
3. 暴力団に資金を提供しない
4. 暴力団と交際しない

に気を付けて下さいとの事でした。

何か有ったらすぐ警察にお知らせ下さい。警察はかならず貴方を守りますともお話されていました。

我々、西クラブのメンバーの中にも一見暴力団員風に見える方も居ないでも有りませんが、もし、暴力団と交際の有る方が居ましたら即刻、交際を辞めて頂きたいと思えます。しかし、近年の暴力団は見た目では解らないとの事でした。

7 月 20 日は、かのや東ロータリークラブ例会に私と梅北幹事とでご挨拶に行っていました。

やはり、かのや東ロータリークラブでも暖かい歓迎を受け、かのや東クラブ プロバスクラブ会員の方の卓話もお伺いしました。

86 歳の先生上がりの方でサッカーに今も情熱を燃やし、残った人生をどう過ごすかでは無く、残った人生をどう楽しむかだとお話されていました。ピシッとした姿勢の良い元気の有るお声の話で元気を頂きました。

鹿屋クラブ同様ケリーズバーベキュークラブのお誘いを行って来ました。

7 月 22 日は今年度初の同好会、ケリーズバーベキュークラブが北山委員長の元、結サンマリノで開催され 3 時からバーベキューの歴史、バーベキューに使用する肉の違い等を学び、続いてスモークサーモンの作り方を米軍エアホース・ケリー司令と通訳 2 名に、熱心に教えて頂きました。

アメリカの料理のイメージはおおざっぱなイメージを持っていましたが、時間を掛け食する時間に合わせて温度管理をしながら調理をするなど、日本のバーベキューとは別物とのイメージだとの感想を持ちました。

4時30分頃一旦、休憩と成り。

私は打馬分水路夏祭りにお声がけ頂いていましたので、そちらにも顔出しをさせて頂きました。

コロナで開催出来なかった祭りを子供達が一番喜んでいる様にお見受け致しました。

こう言う祭りが子供達の古里に対する想いを残して行くのだろうと思います。

運営している打馬商工同友会と打馬町内会の皆様の準備と運営に頭が下がる思いです。

6時30分より再度、結サンマリノでケリーズバーベキュークラブが再開され、鹿屋ロータリークラブより田中パストガバナーを始め3名の参加を頂き、米軍エアホースから10名、西クラブより12名の参加で懇親会が開かれました。

その中で初めに米軍エアホース通訳から私を紹介する際にプレジデントと紹介して頂きました。

私的には最近、Netflixで「サバイバー 宿命の大統領」と言う映画を見ている最中ですが、その映画の中で大統領をプレジデントと紹介する場面が多く登場するのですが、多くのアメリカ人の前でプレジデントと紹介されると、まるで映画の中のアメリカ大統領に成った気分でした。

私の人生の中でプレジデントと紹介されるのはこれが最初で最後だと思います。

メイプル入りバーボンや若潮酒造の限定焼酎グローなど珍しいお酒と、まるでアメリカの家庭料理の様な食材が準備され北山委員長の奥様にも感謝でした。

懇親会も多いに盛り上がり北山委員長が次回開催を9月9日に開催するとの約束をされていました。

今回は大隅の黒ぶた、黒牛を北山委員長が準備してBBQを行うとの事です。皆さんも是非スケジュールを調整してご参加頂きたいと思っております。

楽しい思い出が出来る事、間違い無しです。

また、風呂井パストガバナーも鹿屋西ロータリークラブ観月会に米軍エアホースの皆さんを招待する約束をされ、次回の観月会は国際色豊かな観月会に成る事これも間違い無しと思われまふ。

最後に鹿屋クラブより参加して頂きました井之上君のエールで締めましたが、アメリカにはエールが無い様で、それが大受けで動画に撮るのでとの事でアンコールまで有り、ケリー司令に大いに喜んで頂いた模様でした。きっとこの動画が広くアメリカで拡散し多くのアメリカ人の目に触れ「メジャーリーグの大谷」に続いて、「エールの井之上」としてアメリカで有名な日本人に成る事でしょう。

7月23日は早朝から肝付川クリーン作戦に参加致しました。肝付川は見た目には綺麗でゴミも殆ど落ちていない状況でした。肝付川クリーン作戦ウォークと成り気持ちの良い散歩と成りました。昨晚、ご一緒して頂いた米軍エアホースの皆さんも参加しており、すっかり地元で溶け込んでいる様子でした。

夏休みも始まり、いよいよ夏本番と成りそうです。

最後に皆さん、日常生活では十分に水分補給をして頂き、くれぐれも体調に気を付けて猛夏を乗り切って

頂きたいと思っております。

以上で今回の会長卓話とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。



3分間スピーチ

河野博明さん



お疲れ様です。本日スピーカーを務めさせていただきます宮崎太陽銀行の河野でございます。

何を話すべきかと考えてみたのですが、私は高校時代ラグビー部に所属しておりました当時と現代のギャップを踏まえて少し話をさせていただきます。

高校は地元の宮崎県立日向高校に進学しました。鹿屋高校と同じ感じかと思っております。

入学して2週間後だったと思っておりますが、ラグビー部に入部しました。入部したきっかけは、「イソップ！」で有名なドラマ「スクールウォーズ」に影響を受けたミーハー、かつ単純なものでした。そんな単純な気持ちで入部しましたが、練習のハードさにすぐ後悔しました。

ご存じの通りラグビーは人と人がトップスピードでぶつかり合う激しいスポーツです。それが最大の魅力でもありますが、ケガを防ぐためには基本的な身体づくりが重要になってきます。

そのために毎日、毎日実戦形式の練習からスクラムでのぶつかり合い、更には筋トレと続いています。

特に最悪なのは夏場の練習です。

今でこそ水分は十分摂ってと言われますが、当時は「水は飲むな！」の根性時代で、トイレに行く振りをして隠れて水を飲んでいました。

もう一つは体罰ですね。縁あって2年の高校総体終了後から3年の冬まで主将を務めさせていただきました。

うちの部は主将と副主将が毎日昼休みに当日の練習メニューを監督に聞きに行く習慣がありました。

当時部員が3学年合わせ60名前後で個性豊かなメンバーが沢山いました。となると遅刻するもの、帰宅時に買い食いするもの等校則に触れる連中が沢山います。それが監督の耳に入っていれば主将責任ということで“宮島のしゃもじ”で精神注入されるのです。

正直全部員四六時中監視できるはずもないので「なんで？親じゃねーぞ！」といつも思っていました。

とにかく理不尽なことで、しゃもじ以外でも精神注入されるのは日常茶飯事でした。当時は本当に「くそ監督が！」と思っていました。パワハラと言われる今では考えられないことだと思います。

そんなこんなで3年間本当にきつい思いをしました。ただ、その経験はこれまでの社会人人生の糧には確実になっています。あの時のことを思えば少々きついこ

とがあっても、あの時に比べればとなります。

試合で、そして監督さんに精神注入されることで身をもって痛みを知ることができました。また、チームのためにどれだけ身体を張れるか「ONE FOR ALL - ALL FOR ONE」の精神で何物にも代えがたいチームワークを学ぶことができました。

体罰等言葉も含め暴力はいけなことです。

ただ、パワハラや様々なハラスメントが叫ばれるようになり、叱られた経験が少ないせいか、大人になり切れていない大人も多い気がします。

コミュニケーションが苦手な子も増えてきたように思います。

当行にも若い子たちが沢山います。

褒めるときは褒め、叱るときは叱る。パワハラ等言われますが日頃のコミュニケーションを取ることで相手の捉え方も違ってくると思います。時代は違いますが根底は変わらないとも思います。

今後の抱負にもなりますが、遠慮することなく対話を重ね本気で接することで、若い子達が今でなくとも将来的に理解してもらえることを願って接していきたいと考えています。

とりとめのない話で申し訳ありません。

これで3分間スピーチを終わります。ご清聴ありがとうございました。

会員卓話

四元隆二さん

本日はロータリーブランド、さらに鹿屋西RC「職業奉仕」の現在と未来について考えましよう



§1 ロータリーのブランドや理念を振り返る

- Q：歴史に紡がれたロータリーのブランドは？
- 【親睦】・・・みんな仲良く
 - 【相互扶助】・・・会員同士でビジネス盛り上げ
 - 【個人奉仕】・・・例会で学び、それぞれの職業活動で実践
 - 【団体奉仕】・・・クラブ一丸となって社会奉仕

Q：ロータリーの理念とは？

- 【ロータリーの目的】・・・職業上の規範
- 【第一の標語】・・・「超我の奉仕」
- 【第二の標語】・・・「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」
- 【四つのテスト】・・・職業上の合言葉

§1：ロータリーの理念やブランドを考える ブランドを考える時は → 歴史を振り返るとよい



■20世紀初期のアメリカ、国民の精神性を高めたい、などの理由で各州で徐々に禁酒法が制定。

■でもみんなお酒が好きだしお酒を所持すること自体は合法だった。その結果・・・

■闇で酒の販売が横行し、それを仕切るアルカネなどのマフィアがぼろ儲け！かえって社会が腐敗してしまう皮肉な結末に・・・トホホ泣

■シカゴで弁護士をしていた **ポール・ハリス** は1905年、同じように田舎町出身の仲間3人とロータリーを結成。
尊敬しあえる仲間同士で親睦を深め、相互にビジネスを盛り上げると共に、高いモラルとスキルをもって職業を手段として社会に貢献しようというものでした。

- 親睦 みんな仲良く
- 相互扶助 会員同士でビジネス盛り上げ
- 個人奉仕 例会で学び、職業で奉仕

ここに当初のロータリーブランドが確立する



しかし「ロータリーはどこへ行く、昼飯を食べに行く」との皮肉な言葉に代表されるように、内向的なロータリーが社会に悪い印象を与えます。

2 : 00
そこで1907年、街に公衆トイレを寄贈。これが団体奉仕の第一歩となりました。



- 個人奉仕 例会で学び、職業で奉仕
- 団体奉仕 クラブ一丸となって社会奉仕

ところが今度は二者択一的な考えでどっちをとるかで喧嘩に！
ロータリーは質の高い例会を通して人格を形成する場所であり、奉仕活動は個々のロータリアンがロータリーを離れた日常生活で行うべきだ。
いえ、クラブが社会に奉仕することによりロータリーが社会を豊かにする有益な団体であることを大々的にアピールすべきです！

1923年 セントルイス国際大会 決議23-34
社会奉仕に関する1923年の声明

個人奉仕と団体奉仕は両立する！・・・互いに補完的關係にある大切な要素



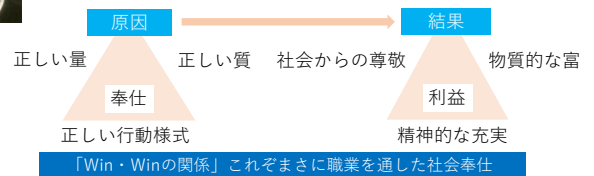
3 : 20

次に・・・ロータリーの理念と「職業奉仕」

- ロータリーの目的 職業上の規範
- 第一の標語 超我の奉仕
- 第二の標語 最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる
- 四つのテスト 職業上の合言葉



経済学者・シェルドンが考えた、Service（奉仕）とProfit（利益）の因果律
お客様に提供する物やサービスの



ロータリーの理念を振り返ると、ロータリーのアイデンティティの根幹が「職業奉仕」

つまり→ロータリーのアイデンティティの根幹は「職業奉仕」

§2 鹿屋西RCの「職業奉仕」の現在と未来 海岸清掃活動（社会奉仕）・・・団体奉仕

インターアクト（青少年奉仕）・・・団体奉仕

KIEA・米軍との交流（国際奉仕）・・・団体奉仕

しかし

職場訪問例会&家庭集会（職業奉仕）・・・職業人を磨くプログラムであって→団体奉仕とは言い切れない

DEIの歴史-アメリカ（侵略と差別）から生まれた



ヨーロッパ系白人によるアメリカ南部への侵略



アメリカから黒人の黒人を連れてきて黒人来朝で奴隷として働かせた

雇用差別を受けた人は、誰でも新えを起こせるようになった。

ダイバーシティマネジメント・・・1960～70年代は訴訟による多額の賠償金を払わないようにするため多様性を経営に組み入れるという、リスクマネジメントの意識が強かった

- ①白人以外の人種が多くを占める時代になりつつある
- ②グローバルな商品開発は、ダイバーシティを必要とする



キング牧師

1950年代 公民権運動
私には夢がある。いつの日か、私の4人の幼い子どもたちが、肌の色ではなく、人格の中身によって評価される国で暮らすという夢が。

1990年代は、個々の人材が持つ多様な可能性を企業の成長に生かそうとする動きが活発化。

1990年代後半になると「ダイバーシティ&インクルージョン」という言葉が登場。「従業員がお互いを認め合いながら一体化を目指していく」という組織のあり方を示した。

Affirmative action (積極的格差是正措置)
J・Fケネディ大統領



人種や性別といった差別解消の機運の高まりを受1964年にアメリカでCivil Rights Act(公民権法)が成立。

民主党 VS 共和党



Diversity 多様性
Equity 平等性
Inclusion 包括性

Discrimination 差別
Exclusion 排除
Indoctrination 洗脳



共和党 フロリダ州 デイトナ市長

提言: 鹿屋西RCには地域社会の職業的プロフェッショナルが全員そろった団体である。然るに職業的スキルを活かして団体奉仕
 → 他団体には真似の出来ないオンリーワンの社会活動が！?

Q: 近年のRIメッセージは? (抜粋)

【RIビジョン】…地域や周囲を巻き込んで持続可能社会を実現するためにみんなで行動しよう
 【行動計画】… ●大きなインパクト
 ●参加者を広げる ●積極的に参加してもらう
 ●社会に適応

課題: 奉仕により大きいインパクトを持たせるためにも、既存又は新規の団体奉仕に、いかにしてロータリーブランドの「核」である「職業奉仕」を入れ込むかが私たちの今後の課題

§3 「奉仕」を考えるときの合意形成の手法

【DEI】… ●多様性 ●平等性
 ●多様性の包括
 【PDCAサイクル】… ●PLAN(計画) ●DO(実行) ●CHECK(評価) ●ACTION(改善)

クラブみんな【DEI】を守りながら【PDCA】を繰り返そう!

その具体例…①アンケートの定期的実施 ②グループディスカッションの定期的実施
 【DEIを踏まえた合意形成】

重要: 「奉仕」という結果も大切だが、それに至るまでの「考え→表現し→受容し→共に行動する」がもっと大切 →

- ① 個人としてリーダーシップ性や人格が磨かれる (ロータリーの神髄)
- ② 積極的参加によりクラブも活性化

§4 本日まとめ



§1

ロータリーの歴史や理念を振り返ると五大奉仕の中でも「職業奉仕」がその根幹にありかつ個人奉仕と団体奉仕の両立がロータリーのブランディングを高める

§2

しかし当クラブの現状は職業的スキルを駆使した団体奉仕はおこなっていない。社会に大きなインパクトをもたらす意味でも既存・新規の奉仕活動に対していかに「職業奉仕」を入れ込むかが私たちの課題

§3

私たちの未来の奉仕を考えるうえで「DEI」を踏まえたPDCAサイクルの定期的な実施が不可欠である。みんなが合意形成プロセスに直接関わることで積極性が生まれてクラブの活性化に繋がるし「考え、表現し、受容し、共に行動する」を繰り返すことで私たちのリーダーシップ性も高まり、高い人間性を獲得できる

ありがとう!



卓話を通して伝えたかったこと

【なぜ私たちはロータリーメンバーなのか?】

一昔前までは「博識」であることが重要視されました。ところが近年はITの発達により、知識は知りたいときに知りたい量だけ自由に引き出せる時代です。微量な脳波から人の質問を解読して、直ぐに答えを表示する装置まで開発されようとしています。つまり「博識」であることは重要視されず、私たちは未来の方向性を定めて→それを完成させるために→人とのコミュニケーションや繋がりを通して必要な情報領域を次々に探り当てて→その中から必要な情報だけを引き出す能力の方が求められています。

さらに一昔前までは「理論の形成」は人間だけの特許でした。ところが近年は「AI」がその役割を担うようになり、「反省だけなら猿でもできる」ならぬ「考えるだけならAIでもできる」時代になってしまったのです。

知識習得や理論形成だけなら、ネットやYouTube、放送大学などを手段として家に居ながらできます。これからの若者は、家で取得できるようなもの多くを、わざわざ社会的団体には求めないでしょう。

私たちロータリーメンバーは「仲間同士が頻繁に会う」ことにブランドがあります。よって例会の卓話や勉強会などにおいて「知識を一方向的に提供する機会」だけではなく、「考える機会・議論する機会」を時折提供すべきです。「人が集うとき」は、そのときにしかできないプログラムがあります。

それがロータリーのブランドや理念をもとにして展開される「グループディスカッション」(RLI方式)です。さらに私たちには「考え→表現し→受容する」ことを経て、今度はそれを形にする「団体奉仕」があります。これら一連のプログラムを繰り返しおこなうことで、私たちはリーダーシップ性や人格が磨かれ、相乗的に「親睦・相互扶助・個人奉仕」も満たされることで、クラブ活性化も実現するので

「世界を変える行動人」になる。そのためには定期的なDEI&PDCAサイクルが必須である。

◆スマイル報告

(2件)

- 遅くなりましたが、前田会長・梅北幹事年度出港をお祝いします。楽しいロータリー運営を期待します。……………野田
- 誕生日ありがとうございます。……………下茂

累計 (一般) 40,000円
 (財団) 11,651円 (米山) 9,000円

***** ありがとうございました *****

週報担当: 東郷